

写真で見るこの1年の国会活動から・・・

～ 本年もどうぞ良い年でありますように～



経済再生と景気の回復へ

一昨年末の選挙で自民党が政権奪還を果たしてから早や1年。この間、アベノミクスと評される経済対策により、日本全体がデフレを脱却し活気を取り戻すべく動き始めておりますが、一方で、取り組まなければならない課題が山積しているのも事実であります。

こうした中、かねだ代議士は衆・財務金融委員長から新たに、自民党政務調査会副会長（財務省・金融庁を主担）、衆・予算委員会理事並びに税制調査会幹事を拝命致しました。引き続き各省に関わりのある様々な課題に、予算・税・金融の観点から横断的に携わることが出来、22年間の大蔵省での経験と、永田町での18年間の経験を存分に活かすことが出来る…
…この思いで全力で頑張っております。

昨年は年初から衆・財務金融委員長として、
予算・税・金融に関する委員会審議を差配。
（安倍総理の答弁、麻生大臣や小泉議員らの顔も）

先般の臨時国会から衆・予算委員会理事に就任。
国会の花形は何と言っても予算委員会。
首相はじめ閣僚全員を前に緊張の審議が続く。
（写真は石破幹事長の質問に答える安倍総理）
以下、矢印は本人。



衆議院本会議場で委員長として
報告するかねだ代議士。
（後方は伊吹衆院議長）



党の政策を決める政務調査会役員会
に臨むかねだ代議士。

党・税制調査会全体会議より。
（野田・額賀・高村・町村代議士の顔も）



（高市政調会長や塩崎・平沢・西川代議士の顔も）



農政：TPP決議の遵守と水田フル活用・・・地元の思いを全力で主張

農家の思いと、生産現場の現状を踏まえていねいな説明と対応を厳しく要求(昨年11月)



農業戦略会議で石破幹事長と林大臣の挨拶



会館の1009号室に県中央会木村会長を筆頭にJA幹部の皆さんが勢ぞろい(昨年12月)



決起大会でTPP決議の遵守を強調



(昨年11月、毎日新聞より)

動 2013

減反5年後廃止

「国が情報提供するだ、5年後をめどに、配分を改め民間主導の米生産に切り替える方向を示した農水省案に対し、伊東良孝氏(衆・北海道)や金田勝年氏(衆・秋田)ら複数議員から疑問や懸念の声があがった。江藤副大臣は「面積要件を設けるわけではなく、決して農村部の切り捨てにはならない」と強調した。

正式に示された。農林水産省幹部らの説明に対し、議論百出となったが、かつてのような「反対」の大合唱は起こらず、了承された。「JA(農協)や農業従事者から連日お叱りがある。環太平洋パートナーシップ協定(TPP)のこともある。愛情のある改革案を示さないと、自民党の信頼が低下する」。

茨城選出のベテラン、丹羽雄哉元厚相の指摘に拍手はまばらだった。議員の関心は総論でなく、農家の所得をどう守るか、減反廃止に伴う需給調整をどうするのかに集中した。「大事なものは農家の所得だ。農家の立場でどうするか説明する義務がある。(改革の)方向性や仕組みは分かるが、(農家に)説明する材料としてはこれでは足りない」。米と、と、「そつだ」のかけこら、秋田選出の金田勝年衆議院議員が訴える

自民・金田氏「大事なものは農家の所得だ」

★党の農林族若手議員に「活」 自民党政務調査会副会長の金田勝年氏(衆院秋田2区)が、党の農林関係会合で存在感を発揮している。若手議員が参加した先日の会合では、戸別所得補償制度を掲げた民主党推薦候補に苦杯をなめた2007年の参院選を振り返り、「丁寧な議論、丁寧な説明を決して忘れてはならない」と活を入れた。金田氏は「農林族は世代交代が進む。東北では加藤紘一さんや玉沢徳一郎さんが引退し、パワーがなくなつた」と嘆く。東北衆参議員会幹事長も務め、農業政策に意欲的な東北の議員の育成と発掘に力を注ぐ。

国会短信



経営所得安定対策見直しなどを議論した自民党の農林水産戦略調査会・農林部会・農業基本政策検討PT合同会議 (6日、東京・永田町で)

(昨年11月、日本農業新聞より)

「国が情報提供するだ、5年後をめどに、配分を改め民間主導の米生産に切り替える方向を示した農水省案に対し、伊東良孝氏(衆・北海道)や金田勝年氏(衆・秋田)ら複数議員から疑問や懸念の声があがった。江藤副大臣は「面積要件を設けるわけではなく、決して農村部の切り捨てにはならない」と強調した。

★党の農林族若手議員に「活」 自民党政務調査会副会長の金田勝年氏(衆院秋田2区)が、党の農林関係会合で存在感を発揮している。若手議員が参加した先日の会合では、戸別所得補償制度を掲げた民主党推薦候補に苦杯をなめた2007年の参院選を振り返り、「丁寧な議論、丁寧な説明を決して忘れてはならない」と活を入れた。金田氏は「農林族は世代交代が進む。東北では加藤紘一さんや玉沢徳一郎さんが引退し、パワーがなくなつた」と嘆く。東北衆参議員会幹事長も務め、農業政策に意欲的な東北の議員の育成と発掘に力を注ぐ。

国会短信

(昨年11月、河北新報より)

災害の迅速な復旧と国土の強靱化へ

地震や津波といった自然災害や笹子トンネル崩落事故のような老朽化事故への対応は今や喫緊の課題であります。

こうした中、災害に強くしなやかな国土を作るべく、「国土強靱化3法」が、議員立法で先の臨時国会の衆参・災害対策特別委員会で審議されました。かねだ代議士は本法案の提出者であり、答弁者として衆と参両院の国会で答弁し、無事に法案は成立致しました。

今後は、災害に強い国と地域をつくるため、政府・与党一丸となって、ハード・ソフト併せた様々な具体的な施策に全力で取り組んでいくことになります。

昨年8月9日、東北を襲った豪雨災害をうけ、東北の議員団38名(代議士が幹事長)が緊急会議。(写真左) お盆の最中に激甚災害指定という過去最速の対応。 また、かねだ代議士は土砂災害が発生した北秋地区も視察。(写真右)

10月には台風被害に見舞われた伊豆大島へも直ちに視察と激励へ。



二階俊博先生と国土強靱化基本法の国会答弁に臨むかねだ代議士(写真左)。参議院の審議で久々に答弁に立つかねだ代議士。(写真右)(12年居た参議院はやはり懐かしい・・・そうです。本人の弁)

11月30日、日沿道の開通式に出席。これもバックアップシステム・命の道として早期の全線開通に頑張ります。



永田町 交差点

国土強靱化法可決
「日本海側強化に法的根拠与えた」
提案の自民・金田氏

○…22日の衆院災害対策特別委員会で、国土強靱化に関する法案が可決された。提案者の一人として出席した自民党の金田勝年氏(秋田2区)は「東日本大震災を受け重要性が認識された日本海側の機能強化を図る上で、法的根拠が与えられた」と喜んだ。

金田氏は19、21日の特別委で、提案者として答弁。副会長に名を連ねる党国土強靱化総合調査会での70回に及ぶ会合での議論を踏まえ対応した。

「ばらまき型の公共事業を助長するとの指摘には「施設や設備の脆弱性を評価し、優先順位を考えて必要な施策を講じ、大規模災害に備えるのは政治の責務」と述べた。

党が当初示した「国土強靱化基本法案」の名称には、公明、民主両党の声を取り入れ「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する」という長い冠が付いた。金田氏は今国会での成立を見据え「多くの会派に理解してもらい、国、地方、民間、国民が連携する形にしたい」と話した。

(高野正巳)

災害、強靱化基本法に懸ける
かねだ代議士の思いが紹介されました。
(秋田魁新報より)

かねだ代議士の活躍シーンを紹介・・・陳情・イベントその他

政調会長の代理で、北海道・東北・北陸の経済連合会長らの予算の陳情を聴き意見交換



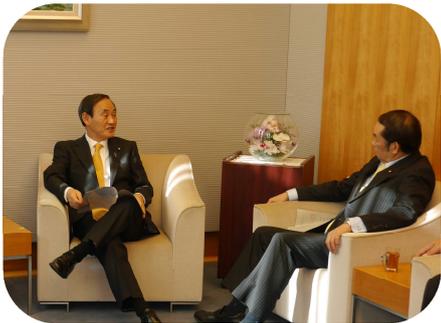
同僚の議員らとたびたび主計局長へ予算の陳情



麻生財務大臣と2人で景気対策について懇談



菅長官と秋田の件で談笑



国交・農水各大臣には頻りに知事と陳情



厚労大臣は昔からの仲間



国会見学にも沢山の地元の皆さんが・・・この瞬間が一番うれしい時とのこと・・・



野外日比谷公園にて2000人を前に党を代表して演説



地元イベントにも積極的に参加



秋田未来塾の塾頭として



国政報告会にて(いつも夫人もそばに・・・)



今日も“あなたの思い”
を胸に頑張っております。
どうぞ今年もご支援の輪を
広げてください！！

